EPSON

CW-C8020

用紙供給装置・巻き取り装置
設計手引書

M00163000
Rev.A

ご注意

1. 本書の適用は、本製品のみに限定されます。
2. 本書の内容の一部または全部を無断で転載、複写、複製、改ざんすることは固くお断りします。
3. 本書の内容については、予告なしに変更されることがあります。最新の情報はお問い合わせください。
4. 本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
5. 運用した結果の影響については、上項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
6. 本製品がお客様により不適切に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理･変更されたことなどに起因して生じた損害などにつきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
7. エプソン純正品およびエプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
8. 本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置、防災防犯装置、各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、きわめて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認の上、ご判断ください。

商標について

掲載している製品名は各社の商標または登録商標です。

©Seiko Epson Corporation 2024

もくじ

■ もくじ 3
■ 用紙供給装置・巻き取り装置　設計手引書 4
用紙仕様 4
使用前の準備 5
印刷速度の設定 5
用紙負荷 5
用紙カール 6
用紙進入角、排出角 6
用紙供給装置・用紙巻き取り装置の位置 7
底ケースの穴と軸の位置 8

用紙供給装置・巻き取り装置　設計手引書

CW-C8000 シリーズは、内部供給（ロール紙）や外部供給（ロール紙 / ファンフォールド紙）またはオプションの巻き取り装置（TU-RC8000）に接続して印刷することを前提に設計しています。
外部装置（ロール紙供給装置・用紙巻き取り装置）をお客様が自身で用意する場合は、以下の設定方法や仕様をよくお読みになり、十分な品質確認を実施したうえでご利用ください。

用紙仕様

CW-C8000 Series と外部装置（ロール紙供給装置・用紙巻き取り装置）の組み合わせで使用可能な用紙は以下のとおりです。

<table>
<tr><th>用紙形態</th><th>用紙種類</th><th>用紙形状</th><th>台紙幅</th><th>ラベル幅</th><th>ラベル長さ</th></tr>
<tr><td>全面ラベル
（マークなし）</td><td rowspan="4">普通紙ラベル
マット紙ラベル
上質紙ラベル
合成紙ラベル
光沢紙ラベル
高光沢紙ラベル
光沢フィルムラベル</td><td rowspan="4">ロール紙</td><td rowspan="4">大径ロール紙供給装置･巻き取り装置を併用
50 ～ 112 mm
巻き取り装置のみ使用
25.4 ～ 112 mm</td><td rowspan="4">大径ロール紙供給装置･巻き取り装置を併用
46 ～ 108 mm
巻き取り装置のみ使用
21.4 ～ 108 mm</td><td>-</td></tr>
<tr><td>全面ラベル
（ブラックマーク基準）</td><td rowspan="3">8 ～ 1016 mm</td></tr>
<tr><td>ダイカットラベル
（ギャップ基準）</td></tr>
<tr><td>ダイカットラベル
（ブラックマーク基準）</td></tr>
</table>

1. 用紙仕様の詳細、ロール紙の原紙については最新の情報を販売会社に確認してください。
2. 用紙仕様の詳細は CW-C8020 詳細取扱説明書を参照してください。
3. 連続紙をページごとにカットする場合は、用紙巻き取り装置を使用できません。

使用前の準備

外部装置（ロール紙供給装置・用紙巻き取り装置）を使用する場合、使用前に以下の項目を実施してください。

給紙方法を[外部供給]に設定する

給紙方法を[外部供給]に設定してください。設定方法は、CW-C8020 ユーザーズガイドを参照してください。

- 外部装置（ロール紙供給装置・用紙巻き取り装置）は、以下の印刷後の動作設定でのバックフィードを妨げないように配慮してください。
  - ＊ カットしない（カット位置で停止）バックフィード量　約 200 mm
  - ＊ カットしない（指定位置で停止）バックフィード量　約 200 ～ 250 mm

印刷速度の設定

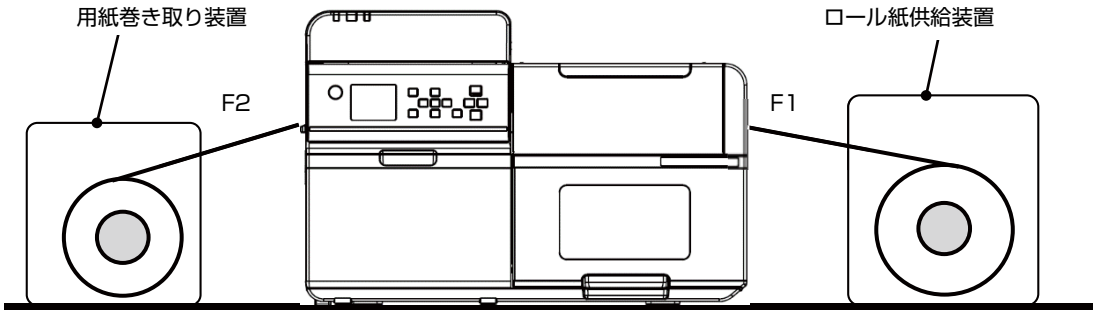
プリンタ ー の印刷速度は以下のとおりです。

印刷速度	使用例
300 mm/s	印刷中、紙送り（フィードボタン / バックフィードボタン操作時）、待機位置移動、自動排紙（用紙エンド）
150mm /s	印刷中、印刷前移動、用紙退避位置移動（電源 OFF、省電力移行）
75 mm/s*	用紙挿入時、キャリブレーション

* ユーザーによる設定はできません。

用紙負荷

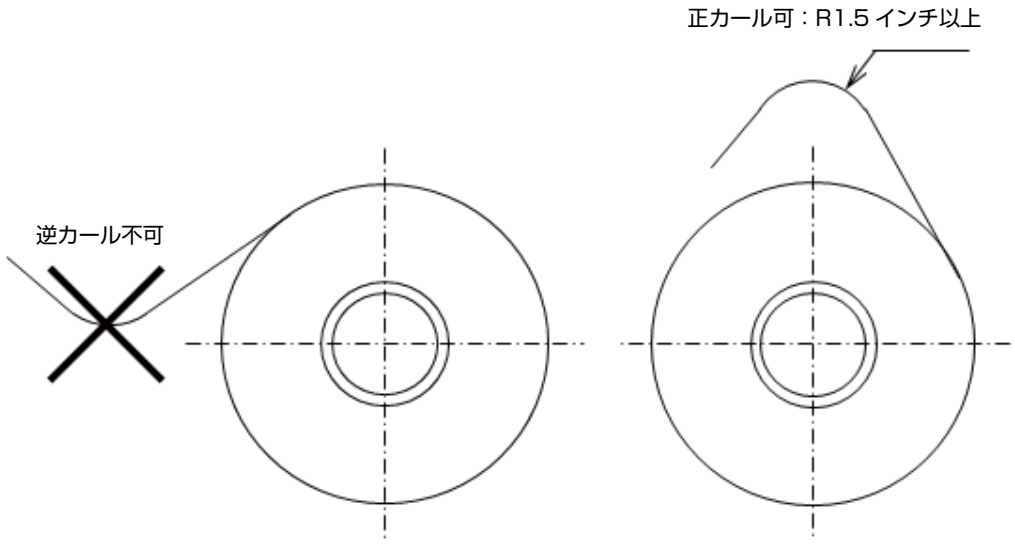
プリンターと、外部装置（ロール紙供給装置・用紙巻き取り装置）の間に発生する用紙の張力（F1, F2）の許容値は以下のとおりです。



ロール紙供給装置側	用紙張力（F1）	1N 以下
	周期	張力変動がある場合：周期を 32 mm としてください。
用紙巻き取り装置側	用紙張力（F2）	1N 以下
	周期	張力変動がある場合：周期を 32 mm としてください。

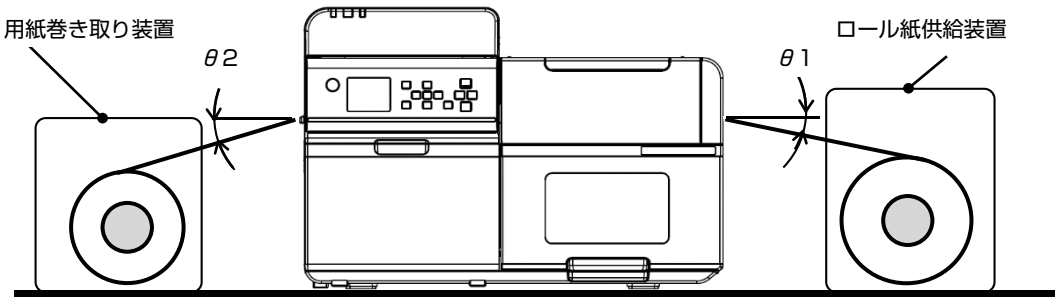
用紙カール

ロール紙供給装置からプリンターへの用紙経路は、以下の点に注意してください。
長期保存する場合、用紙に「逆カール」（ロール紙の巻き方向と逆方向のカール）がつかないように配慮してください。
また、「正カール」（ロール紙の巻き方向と同じ方向のカール）についても、R1.5 インチ以下のカールがつかないように配慮してください。



用紙進入角、排出角

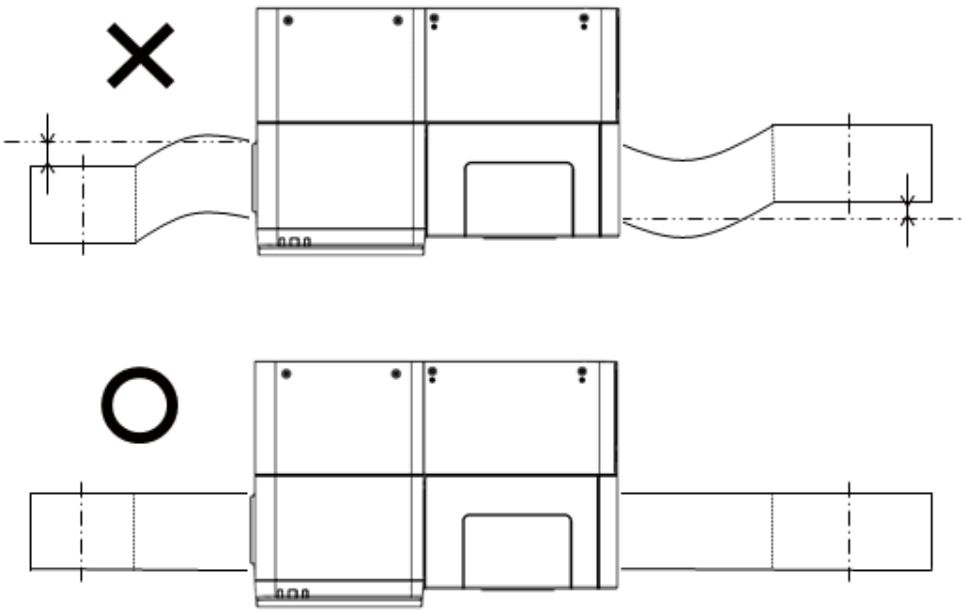
用紙供給装置からの用紙進入角度（θ1）と、用紙巻き取り装置への用紙排出角度（θ2）の許容値は以下のとおりです。



用紙進入角：θ1	10° ≦ θ1 ≦ 20°
用紙排出角：θ2	0° ≦ θ2 ≦ 20°

用紙供給装置・用紙巻き取り装置の位置

外部装置（ロール紙供給装置・用紙巻き取り装置）は、プリンターの用紙経路（進入方向、排出方向）がまっすぐになるよう設置してください。



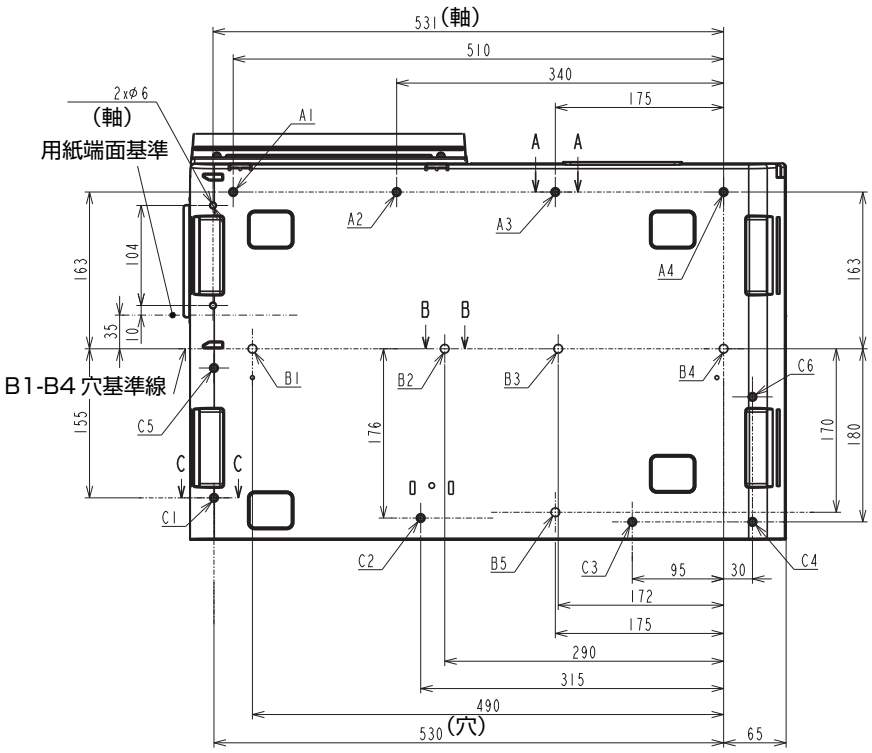
用紙経路が蛇行している場合は、各装置の位置を調整し直してください。

底ケースの穴と軸の位置

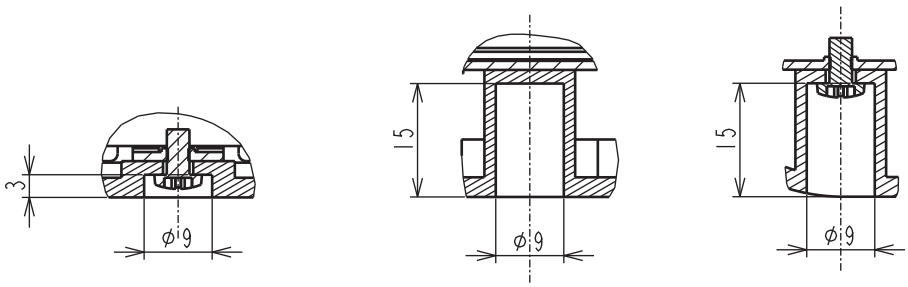
プリンターの底ケースには、下図に示すような穴と軸が設けられています。必要により位置決め等に使用可能です。ただし、寸法は参考値としています。

単位：[mm]

プリンター前方



プリンター後方



断面 A-A
（A1 - A4）

断面 B-B
（B1 - B5）

断面 C-C
（C1 - C6）